

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
29	川崎市立西高津中学校	野田 まなみ

学校教育目標	今年度の重点目標
1 礼儀正しく、感謝する心を持つ。 2 自ら学び、豊かな知識と創造性を培う。 3 心身をきたえ、粘り強く実行する。 4 学校・家庭・地域社会の一員としての自覚を持ち、全体に奉仕する。 5 すべての人を尊重し、国際視野に立つ。	1 「確かな学力の育成」 確かな学力の定着と主体的に活動できる力を育てる教育の推進 2 「豊かな心と健やかな心身の育成」 思いやりのある豊かな心と健やかな心身を育てる教育の推進 3 「地域ぐるみの教育の推進」 様々な出会いを大切に、共に学ぼうとする力を育てる教育の推進

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 2 確かな学力の定着と主体的に活動できる力を育てる教育の推進	支援を必要とする生徒への個別指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○支援COを中心に個々の学習実態を把握し、個別に支援が必要な生徒に対し、支援や学習相談の実施 ○別室での個々の支援計画に基づいた学習支援 ○他機関との連携を図った学習サポート支援の実施 ●全教職員が支援教育への理解を深めた支援教育体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な学習支援のかたちがあることを生徒、保護者に周知し、支援が必要な生徒の状況にあわせた学習支援体制を整える。 ・別室学習や入り込み指導の運用方法について見直しを図る。
	生徒が「わかる」と実感できる授業づくりと信頼ある学習評価	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に沿った指導計画と評価計画の作成 ○わかる授業をめざしたきめ細やかな授業づくり ○評価についての研修実施 ●主体的・対話的で深い学びを意識した授業実践 ●学んだことを生徒自身が振り返ることができる学習課題の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に沿った内容で、本校の生徒の状況にあわせ、指導計画を工夫し、実践する。 ・生徒が学び合いながら進められる授業をめざし、教科を超えてお互いの授業を見合い、意見交換できる機会を増やし、授業力の向上を図る。 ・校外研修の充実を図るとともに、校外での研修会にも積極的に参加させ、その成果を共通理解する。
	GIGAスクール構想を推進する授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○授業における効果的なGIGA端末活用 ○教科横断的に日常的にGIGA端末を学習活動に取り入れ、効果的に活用できているかの検証 ●学びの連続性を踏まえた活用と検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ使うのではなく、計画的に、生徒の学びが深まる手段として活用していく。 ・支援教育の一助となる活用方法についての研修を深める。
4 5 思いやりのある豊の心と健やかな心身を育てる教育の推進	生徒への丁寧な関わりときめ細やかな生徒指導・生徒支援の実践	<ul style="list-style-type: none"> ○年3回の教育相談と必要に応じた面談、家庭訪問の実施 ○主任会、支援教育推進委員会、生徒支援連絡会での情報交換を密にし、職員全体で情報共有を図り、共通認識をもった生徒指導・生徒支援の実施 ●生徒が教員と話しやすい環境づくりと業務の精選 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常から生徒が相談しやすい環境をつくり、傾聴を心がける姿勢について全教職員で再確認する。 ・生徒に対応できる時間確保のため、業務の見直しを図る。 ・迅速で効果的な情報共有を継続する。
	不登校生徒、いじめへの組織的取り組みと家庭・諸機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○月1回、SCを交えての生徒支援連絡会の実施 ○個人面談後の記録の共有 ○生徒に応じた他機関の利用とケース会議の実施 ●定期的な職員研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒への対応について、保護者、SC、他機関との連携を深め、一人一人に寄り添った支援をするとともに、不登校生徒の減少に努める。 ・いじめ防止については、教職員の意識の向上を常に図り、研修を深めていき、未然防止に取り組んでいく。
	生徒の個性が輝く特別活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の主体性を生かした活動の推進と生徒会活動の活性化 ○行事等において生徒主体の企画運営の実施 ●学級活動や委員会活動の活性化とリーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己有用感が高められるような行事への取り組み方の工夫を行う。 ・学校全体、各学年のリーダーを中心とした生徒が主体となり発信できる活動を実施する。
	健康教育・安全教育の計画的な実施	<ul style="list-style-type: none"> ○日頃からの防災、安全意識の啓発と防災訓練の実施 ○健康・安全啓発のための講演会、学習会の実施と保健だよりの定期的な発行 ○生徒が安心・安全に学べる環境整備の点検と改善の実施 ●小学校、地域と連携した防災訓練等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全に関する意識を高めるための取組を継続的に進めていく。 ・3年間を見通し、健康・安全啓発のための学習について、効果的な実施を図る。 ・小学校との合同避難訓練や地域と連携した防災活動ができる方向性を検討していく。
7			

8	様々な出会いを大切に	キャリア在り方・生き方教育の推進	○生徒の実態に合わせ、将来の夢や生き方について考える学習活動の実践 ●キャリア在り方生き方教育の共通理解と3年間を見通した実践	・キャリア在り方生き方教育について全体計画の見直しを図り、3年間で付けたい力を明確にして、系統立てて取り組んでいく。 ・キャリア在り方生き方教育について研修を深め、職員の共通理解を図る。
9	共に学ぼうとする力を育てる教育の推進	学校だよりやホームページ等を通じた広報活動の推進と保護者の学校行事等への積極的な参加の促進	○定期的な学校だより等の発行による情報発信の実施 ○学校公開日、行事等への保護者参加の実施 ○地域と連携した職場体験、講座学習の実施 ●小中連携の工夫	・学校だより等は情報発信の有効手段としてさらに工夫して取り組んでいく。 ・PTAとも連携をさらに図り、学校の様子を発信できるよう工夫していく。 ・教員の働き方改革を考えて、それぞれとの連携を図っていく。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>○学校教育目標の「国際視野に立つ」というのは、英語ができる、海外の方と触れ合うなどをイメージしてしまうと思うので、性教育の視点でパートナーを大切にすると、国際標準でジェンダーについて考えるなどを取り入れ、身近に感じることができるようにする。</p> <p>○ICTについて子どもたちが学習していることを保護者も理解できるようになるとよい。</p> <p>○支援教育を進めるにあたっては、教員のカウンセリングのスキルを上げることが重要である。</p> <p>○子どもたちの背景にあるものは何かをしっかりと理解して、一人一人の子どもに対応していくことが大切である。</p> <p>○子どもたちがよりよい学校にしようとしても前向きに取り組んでいる。</p> <p>○まじめな生徒が多いので、枠にはまった考えだけではなく、多方面で考えられるようになってほしい。</p> <p>○先生から子どもたちへの一方向ではなく、子どもたちと先生方が双方向に考え、いろいろな話をしながら学校づくりをしていってほしい。</p>	<p>「確かな学力の育成」「豊かな心と健やかな心身の育成」「地域ぐるみの教育の推進」を重点目標として、生徒にとって「学校に来るのが楽しい学びがいのある学校」を目指して教育活動を進めてきた。特に、「支援教育体制の充実」に重点をおき、生徒一人一人の状況を十分に把握し、情報交換を密にしたなかで、授業改善、個別指導の充実に取り組んできた。</p> <p>その成果として、「分かりやすい授業への取組」「基礎的・基本的な学びの定着」については概ね達成することができた。また、支援教育を進める上で、お互いを認め、尊重することを大切にしてきたことから「いじめや暴力、暴言のない学校づくり」「豊かな人間関係の育成」では十分達成することができた。一方、「家庭との連携による生徒の基本的な生活習慣の確立」については課題があると考える。豊かな心と健やかな心身の育成において、基本的な生活習慣の確立は不可欠なため、情報共有をするなどして、家庭と連携を図り、生徒の健やかな心身の育成を目指したい。</p> <p>「豊かな心の推進」において、教師に気軽に相談できないと思っている生徒が一定の数いることが大きな課題である。教員は、気軽に相談できる環境をつくっているつもりでも、生徒から見ると「話しづらい」「先生がいつも忙しいそうにしている」「特定の子ばかりに対応している」などと感じることもあるのではないかと思う。教員の多忙さから生徒とじっくり向き合う時間が取れないということも垣間見えることから、業務精選をするとともに、生徒への声かけや日常の会話を大切にしていくことで生徒の様子を見取れることを再確認していきたい。</p> <p>次年度も、今年度の成果と課題を生かし、「支援教育体制の充実」に重点を置き、引き続き「確かな学力」「豊かな心と健やかな心身」「生きる力」を重点目標として学校運営を進めていきたい。</p>